



「チュッピー」の命名者、山本岩夫さん(写真左)と今池和子さん(写真右)

チュッピーです。よろしくね

「子育て王国そうじゃ」のロゴキャラクターの名前が「チュッピー」に決まり、市長室で命名式が行われました。

「チュッピー」は、応募のあった101件(応募者77人)のなかから、「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会が厳選し決定した。ネズミの「チュー」と、幸せの「ハッピー」を組み合わせたものです。

命名者は、山本岩夫さん(井手)と、今池和子さん(浅口市)の2人。名前の由来について尋ねられると、山本さんは、「子育て王国そうじゃは、ええことじゃと思ひ、いろいろ調べたりして、一生懸命考えました」と。また、今池さんは「親も子も幸せにと願って名前を考えました。多くの人にかわいがってもらいたいです」と、話しました。

今後は、名前入りのロゴを用いて、「子育て王国そうじゃ」のPRに使われます。



チュッピーが、車のボディにも張れるステッカーに。大きさは直径11cmで、2000枚作成。希望する人には、こども課窓口で配布中

まちのトピックス

南高ダンス部、世界大会へ

昨年、ミスダンスドリルチームインターナショナル in USAで世界一になった総社南高校ダンス部。今年も、昨年7月の日本大会で優勝し、この世界大会への出場権を獲得しました。

世界大会は3月24日から、アメリカのダラスで開催。ヒップホップとダンスの2部門に、1年から3年までの22人が臨みます。メンバーが独自に編集したオリジナル曲にのり、ダイナミックでスピード感のあるダンスが、このチームの売り。今、本番に向けて、最後の練習に取り組んでいます。

昨年の世界大会も経験している楠みなみさん(3年)は、「攻めの気持ちでの踊りを大切にし、もてる力を全力で発揮したい」と、大会への意気込みを話してくれました。

保護者会では募金活動を実施中。皆さん、世界大会出場の南高ダンス部を応援してください。

問い合わせ 総社南高校(☎0811)



世界大会に臨むダンス部員。顧問の青山教諭は、「日本大会で優勝した勢いを、そのままアメリカにもって行ってほしい。踊りで勝負したい」と話す

宮本祐助さん2部門で入選

総社文学選奨の入選者

総社文学選奨の詩・短歌・俳句・川柳・小説・童話の6部門に107点の応募があり、審査の結果、次のとおり入賞者が決定しました。宮本祐助さん(門田)は、川柳と童話の2部門での入選です。

【詩】
▼入選 金池兼広(真壁)
▼佳作 久保田智子(三須)、林

幸子(西阿曾)、西谷幸子(小寺)、西村昌枝(真壁)
【短歌】
▼入選 守安晴美(中央四丁目)
▼佳作 吉澤加子(清音古地)、三鼓奈津子(清音軽部)、長尾七生(泉)、福光瀧子(清音柿木)

【俳句】
▼入選 大月雄三郎(山田)、中山潔子(下倉)、川鱈

【小説】
▼佳作 高取実環(泉)

【童話】
▼入選 宮本祐助(門田)

【川柳】
▼佳作 新谷加代子(総社二丁目)、石原良一(中原)、東茂

【敬称略】
問い合わせ 文化課文化振興係(☎0811)



ワークショップでの話し合い。売り出したい特産品のセールスポイントを説明し、講師からパッケージデザインの助言を受けた

パッケージデザインの提案

特産品のパッケージデザインを考える「活かして・使えるパッケージ」講演会が12月12日、市内の加工製造業やまちづくりに携わる人ら約40人が自慢の特産品を持ち寄り、商工会館で開かれました。

地域コーディネーターの碓孝洋さんが、流通させるためのポイントとして、内容量を多くしないことや清潔で実用的な容器の使用、原材料や生産地、賞味期限を正しく明確に表示することが大切と講演。これを基に、持ち寄った特産品のブランド化をテーマにしたワークショップも実施されました。

ワークショップは、観光プランナーの井手修身さんと碓さんが進行。見せ方やネーミング、陳列をし

やすくする配慮など、参加者はパッケージデザインの改善のポイントを学んでいました。

この講演会後、生産者から希望のあった特産品5点について、碓さんと井手さん、この講演会を主催したNPO法人ちみちの3者でパッケージデザインの提案をすることが進められています。